

サウジ経済月報（2006年11月）

在サウジアラビア日本国大使館 経済班

経済一般

- 9日 世銀がサウジ経済を、国際経済レポートにおいて38位にランク。
- 13日 サウジ通貨庁は、12日、サウジの2005年GDP成長率は6.5%（2004年は5.3%）、財政黒字は2180億リアルであったと発表した。
- 27日 アラブニュース紙が2006年サウジトップ100企業ランキングを発表。

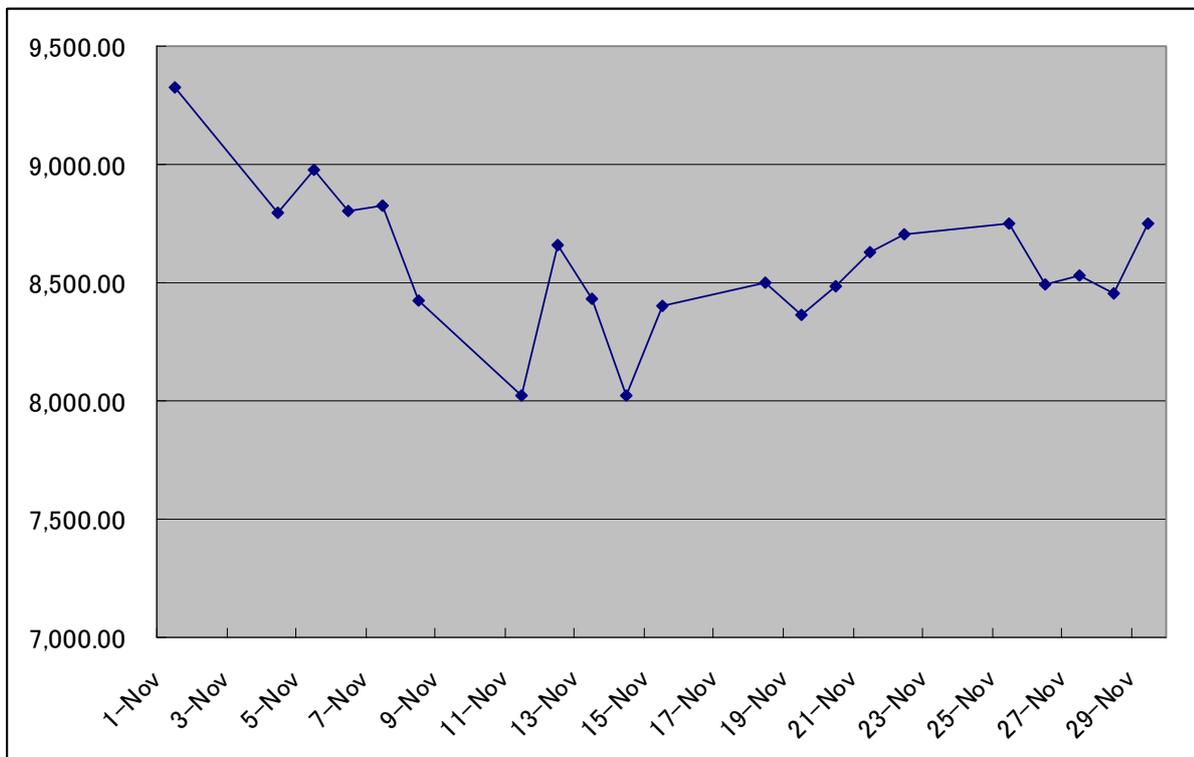
金融

- 2日 銀行の営業時間が12月2日から午前9時半から午後4時半までに変更。
- 6日 UAEの産業財政大臣が2010年のGCC通貨統合は予定通り行われると発言。
- 8日 スタンダード・チャータード銀行がABN Amroが所有するSaudi Hollandi銀行の持分取得か。
- 11日 株価指数TASIが本年2月の株価クラッシュ以来前月に引き続き最安値を記録。
- 30日 サウジ通貨庁は民間銀行の新規参入許可を一時保留。

サウジ株価指数 TASI の動き

最高値：9,328.47(1日)

最安値：8,019.07(11日)



投資

- 1日 ダubberグSAGIA総裁は、近く中国による40億ドル規模の投資案件が予定されていると述べた。

- 3日 ワリード・ビン・タラール殿下（王族きってのビジネスマン）は、China Communications Construction Group（国営港湾建設企業）の上場にあたって投資を行う可能性がある」と述べた。
- 4日 ジザーン（南西部港湾都市）訪問中のアブダラー国王は、ジザーン経済都市（SR100billion 規模、50万人の雇用創出）計画を発表。また、開発会社である共同株式会社の株式のうちSR375million分を同地域の住民に無料配布することを決定。なお、併せて国王は、同地域における石油精製プロジェクトに関するFS調査を行うよう支持した。
- 6日 サウジ基礎産業公社（SABIC）はエクソンモービルと共に、ジュベールとヤンブーにおける石化事業拡張に関するFSを実施すると発表。
- 8日 第1回グローバル競争力フォーラムがリヤドで開催。サウジ総合投資院（SAGIA）とマイクロソフトの共催であり、サウジを初訪問したビルゲイツ氏が講演を行った。
- 11日 第2回ジッダ水電力フォーラムが開催。
- 11日 サウジ基礎産業公社（SABIC）関係者は、中国にて50億ドル規模の石化プラント建設（合弁）を予定していると述べた。
- 12日 シュケイク（南西部、紅海沿岸）のIWPPプロジェクトの preferred bidder として三菱商事を含むコンソーシアムが選出された。
- 20日 日サウジ投資ワークショップ（SAGIA主催、中東協力センター&国際協力銀行協力）がリヤドで開催され、日本から有力経営者等が多数参加。日本代表団は、アブドラー国王へも拝謁。

貿易・通商

- 25日 サウジ訪問中のシンガポール首相は、現在サウジとは二重課税防止条約と航空協定を交渉中である。また、GCCとのFTAを希望していると述べた。その翌日、アッサーフ財政大臣は、GCCとシンガポールは来年初旬にFTA交渉を開始すると発表。

石油・ガス

- 3日 アラムコが上海とクアラルンプールに事務所設置を発表。
- 5日 ダンマンにて、日/サウジ 触媒セミナー開催。
- 18日 第1回 日/サウジエネルギー協議がリヤドで開催。
- 18日 ダンマンにてエネルギーフォーラム開催。アラムコと石油・鉱物資源省が主催し各国よりエネルギー関係者が集まった。

社会資本

【航空】

- 12日、サウジ航空は低価格路線を導入すると発表。

13日、サウジ航空は乗客の需要増に答えるべく、新たな航空機をリースすると発表。

【鉄道】

20日、定例閣議で、「ランド・ブリッジ・プロジェクト」に関し、政府が財政的支援を行うことと入札した共同企業体に対して50年間の運営権を与えることを決定。

【その他】

12日、スルタン皇太子後援の第23回地理情報システム国際会議がリヤドにて開催。

労働

2日、職業訓練庁は、今夏、約7000人のサウジ人女性に対して、販売員やレジ係、受付係になるための職業訓練を実施したと発表。

21日、労働省は、サウジ人男性の失業率は9.1%、サウジ人女性の失業率は26.3%と発表。

26日、職業訓練庁は、ジッダに職業訓練センターを新設したと発表。

その他

20日 リヤドで開催予定であったIPOサミットが開催当日に中止。